

令和6年度 中・四国各県の研修会【報告】

【徳島】県

研修会名称	第70回徳島県体育指導者講習会
期 日	令和6年7月26日(金)
会 場	神山町立神山中学校体育館 神山町立広野小学校
内 容	9:00～9:30 受付(神山中学校体育館) 9:30～9:50 開校式 10:00～11:00 講演(鳴門教育大学教授 湯口雅史様) 11:00～11:30 質疑・応答 11:30～13:00 昼食・移動 13:00～13:30 主題説明(神山町広野小学校) 13:30～15:30 グループワーク 15:30～15:50 全体会 15:50～ 閉校式・解散
報 告	<p>今年度は「徳島県のよりよい体育学習の実現に向けて、参加者が体育学習への思いや考えを出し合う中で、令和6年度体育部会主題をもとにした体育学習の在り方について考え、今後の教育実践の充実を図る」という趣旨のもと本会を開催したところ、県内各地より114名の参加があった。</p> <p>午前の部では、主題説明を通して、今年度の研究主題の理解を広げるとともに、「主体性」のイメージを広げることができた。また、鳴門教育大学教授の湯口雅史先生を講師としてお招きし、「主体性と環境設定」の演題でご講演をいただいた。ご講演の中で、各校の体育科経営を見直す視点や「主体性」について考えを深めることができた。</p> <p>午後の部では「わくわく粘土チャレンジ」を実施した。わくわく粘土チャレンジでは、一方にはPDCAサイクルの過程を重視した条件を付け、他方にはAARサイクルの過程を重視した条件を付けて活動をした。学びのサイクルを受講者自らが体験することにより、AARサイクルを回すことのできる授業づくりの有用性について理解を深められた。</p> <p>その後、体育授業における主体性についてグループディスカッションを行った際には、日頃の体育授業で子どもたちが主体性を発揮しているときや、そうでないときの場面を想起し、話し合いを深めることができた。これまでの実践を振り返る中で、2学期以降の体育授業でそれぞれが意識したいことを確認できる有意義な時間となった。</p>
	  